

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成27年度第3回北はりま定住自立圏共生ビジョン会議
開催日時	平成28年3月10日（木） 午後3時30分～午後4時50分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 3階
出席委員の氏名又は人数	12名
欠席委員の氏名又は人数	5名
出席職員の職・氏名又は人数	オブザーバー7名、事務局4名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	6名
議題又は協議事項	1 第2次北はりま定住自立圏共生ビジョン（案）パブリック・コメントの実施結果について 2 第2次北はりま定住自立圏共生ビジョン（案）について 3 意見交換
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会） （事務連絡）</p> <p>（開会あいさつ） お忙しい中、御出席いただき感謝申し上げます。 本日はパブリック・コメントの実施結果を踏まえた第2次共生ビジョンの最終案を提示させていただくが、各事業について皆様の御意見をいただきたい。</p> <p>（新委員の紹介）</p>
事務局	
西脇市長	
事務局	

	(以後の進行を浅野会長に依頼)
事務局	第2次北はりま定住自立圏共生ビジョン(案)パブリック・コメントの実施結果について 会議資料に基づき、事務局から説明
会長	前向きなパブリック・コメントが寄せられている。共生ビジョンについて関心を持っていただけてありがたい。
事務局	第2次北はりま定住自立圏共生ビジョン(案)について 会議資料に基づき、事務局から説明
会長	国勢調査の人口の速報値と確定値の差は毎回どのくらいあるのか。
事務局	前回の国勢調査では、数人の誤差であった。そこまで大きな差はないようである。
委員	森林整備に携わる人材が不足し、土砂災害等が起きやすくなっている。今後も行政の支援をいただきながら、災害に強いまちづくりを目指していきたい。 また、コミュニティバスについては、圏域住民のニーズに合った運行をお願いしたい。
委員	鳥獣被害について、シカの数が増え続けているように思う。シカが山を荒らすことで、災害が起きやすくなってしまっているのではないかと。抜本的な対策を講じる必要がある。
委員	「ごみ処理事業」について、圏域内のごみ処理施設は、現在の場所であると10年は継続することであるが、新しいごみ処理施設についても早期に検討していかなければならないと感じる。 また、「結婚活動促進事業」について、このままのペースで未婚率が上昇すると、少子化に歯止めがかからなくなる。対策をお願いしたい。
事務局	「西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、出生率向上を目指している。また、それぞれの市町においても、出生率向上のための取組を行っていく。

委員	<p>パブリック・コメントでも意見が寄せられていたが、地域の中で人材を育てていく必要性を感じる。自分たちでできることは自分たちでやらなければならない時代であると思うが、まだまだ行政に頼っている住民も多い。</p> <p>また、市町職員もぜひ地域のボランティア団体やNPOの活動に参加していただきたい。そうすることで各団体とのつながりを強くしてほしい。</p>
委員	<p>「道の駅 山田錦発祥のまち・多可」では、観光コンシェルジュを配置するなど、観光にも力を入れている。</p> <p>また、現在は山田錦の米粉を活用した新たな商品を検討中である。そのような取組を続けながら、今後も観光交流に力を入れていきたいと考えている。</p>
委員	<p>西脇市内のホテルには外国人宿泊客が増えているが、そのほとんどが宿泊するだけですぐに圏域から離れてしまう。少しでも圏域での滞在時間を増やしたい。圏域の魅力を再発見し、目的を持って来ていただけるようなまちづくりをしていかなければならない。</p>
委員	<p>西脇市から大阪・神戸方面へのバスの本数は、乗客が減少する中で何とか維持しているという状況である。</p> <p>また、コミュニティバスの運行についても、乗客が増えないことには維持が難しい。運転免許証を自主返納することで、運賃の割引を受けられる制度もあるので、積極的にコミュニティバスを利用してほしい。</p>
委員	<p>多可町内の小学校で、特産品に関する取組についての授業を行ったことがあるが、小学生たちはとても熱心に話を聞いてくれた。また、地元の取組にも興味を持ってもらえたように思う。そのような機会がたくさんあれば、子どもたちも地元の魅力を感じ、将来につながるのではないか。</p>
委員	<p>地産地消の推進について、出荷者協議会の中で「学校給食部会」を立ち上げた。学校給食への地元食材の供給を通じて、地産地消を推進したいと考えている。今後はこのような取組を圏域全体に広げていきたい。</p>
委員	<p>文化・スポーツ施設の相互利用等については、加西市・</p>

<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>多可町副町長</p>	<p>加東市を含めた北播磨広域定住自立圏への移行により、より広域で施設の相互利用ができるようになったことを高く評価している。</p> <p>また、「連携事業」と「交流事業」という二つの言葉は、共生ビジョンの中でどのような使い分けをされているのか。</p> <p>「連携事業」は、共生ビジョンの中で1市1町が連携して行う事業全般を指している。「交流事業」は、「文化・スポーツイベント交流事業」のように、圏域住民の交流を促進する事業を指している。ただ、共生ビジョン上ではこのように使い分けをしているが、意味は特に変わらない。</p> <p>今後ますます高齢化が進む中で、医療に携わる人材の不足が懸念される。人材育成に力を入れていかなければならない。</p> <p>また、医療・福祉分野の連携事業内容は、セーフティネットの構築が中心となっている。それに加えて、子育てや自宅での親の介護などを支援する取組が必要であると考ええる。</p> <p>(事務連絡)</p> <p>第2次北はりま定住自立圏共生ビジョンについては、印刷製本が完了次第、委員の皆様へ送付する。</p> <p>また、委員の皆様は、今回の会議で任期満了となる。長期間にわたり、委員として御支援いただいたことをお礼申し上げます。今後も北はりま定住自立圏域での事業推進に御協力をお願いします。</p> <p>(閉会あいさつ)</p> <p>本日はお忙しい中、貴重な御意見を数多くいただき感謝申し上げます。本日いただいた御意見を参考にしながら、今後も取組を続けていきたい。引き続き皆様の御支援・御協力をお願いします。</p> <p>(閉会)</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>